

令和4年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 森林空間を活用した健康活動と森林のアクティビティの融合による森林での活動習慣の定着化に関する調査
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和3年7月～令和4年6月
(概 要) 森林浴を始めとする森林空間を活用した健康活動の定着化を図るため、利用者の興味や関心に沿った森林ガイド等と健康づくりを融合した森林利用の手法の事例を調査するとともに、モニターツアーを実施し、報告書及び「森林インストラクターと幼児教育の連携のための手引き」を作成し会員他関係者に配布した。
- ② 高齢化の進んだ山村の地域資源である森林空間と有用植物の新たな活用に関する調査
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和4年7月～令和5年6月
(概 要) 山村地域資源としてポテンシャルを持った文化的・自然的資源の新たな活用による森林空間の活用の有効性の提示と利用者の拡大を図るため、高齢化の進んだ山村地域における森林空間活用の現状把握、地域に存在する伝統文化、風土、風景、居住空間、有用・薬用植物の調査とそれらの新たな活用方法の開拓を検討し、報告書を作成する。
- ③ 森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業
(助成者) (一財) 日本森林林業振興会
(期 間) 令和3年9月～令和4年6月
(概 要) 障害者や身体に支障のある高齢者の森林を活用した保健休養及び森林レクリエーション普及を図り、障害等の有無にかかわらず、すべての人が森林を活用し、その保健休養効果やレクリエーションを享受できるように、森林空間の利用プログラムを開発するとともに、プログラムの進め方及び実践事例を取りまとめた「高齢者・障がい者のための森林のレクリエーション利用のてびき」を作成し会員他関係者に配布した。

④ 障がい者・高齢者の保健休養活動及びレクリエーションによる森林空間利用促進事業

(助成者) (一財) 日本森林林業振興会

(期 間) 令和4年9月～令和5年6月

(概 要) 障がい者・高齢者が森林のアメニティの恩恵を享受するため、プログラムの実行の担い手の人材育成のためのワークショップの開催、障がい者や高齢者が利用している森林空間の環境条件の調査、普及啓発活動としてのフォーラの開催等を実施する。

(2) 調査研究活動の成果の普及

「障がい者・高齢者のための森林のレクリエーション利用のてびき」を会員及び林野庁、森林管理局等の関係機関並びに森林公園等関係者に配布するとともに、既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂7版」を発行し、一般配布するとともに、森林体験活動に必要な資材等の助成を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.419(2022年4月)～No.429(2023年2月)、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

① 森林レクリエーション活動に関する情報

- 〈リレー連載〉森林アメニティの新たな動向 多様化する森林アクティビティの最前線(2)－森林でのマウンテンバイク フォレストバイクの事例から－ (No.419)
- 〈リレー連載〉同(3)－ロードバイクによる森林空間利用－ (No.420)
- 〈リレー連載〉同(4)－野山を歩く・走る楽しみの近年の広がり－ (No.421)
- 〈リレー連載〉同(5)－「生きる力」を育み、「移住促進」にも貢献する「森のようちえん」－ (No.422)
- 〈リレー連載〉同(6)－富士山麓におけるフィールド・リトリートの取り組み－ (No.423)

- 〈リレー連載〉同 (7) - 森の中での音楽会・文化祭の試み- (No.424)
 - 〈リレー連載〉同 (8) - 山菜・きのこ採りの楽しみの広がり- (No.245)
 - 〈リレー連載〉同 (9) - 冬の森林アクティビティとしてのスキーとその将来- (No.426)
 - 〈リレー連載〉(10) - 森林療法のプログラム- (No.427)
 - 〈リレー連載〉(11) - 障害者・高齢者とともに楽しむ森林空間の活用とユニバーサルデザイン- (No.429)
 - 〈リレー連載〉(12) - 森林アメニティの新たな動向多様化する森林アクティビティの最前線- (No.430)
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
- 新刊紹介「事例にみる森林アメニティー私たちの健康と森林ー」(No.421)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
- わがまち 静岡県河津町(東京支部)伊豆の踊子と河津桜の里 伊豆・河津温泉郷 (No.420)
 - 信越トレイルが苗場山まで延伸した道のりー人と地域を結ぶ、全長110 kmのロングトレイルー (No.421)
 - 詳しすぎる高尾山ガイドブック (3), (4), (5), (6) (No.422, 427, 429, 430)
 - 第34回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の活動 (1), (2), (3) (No.424, 425, 426)
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
- 令和3年度森林・林業白書の公表 (No.423)
- ⑤ 当協会に関する情報
- 第72回理事会の開催 (No.419)
 - 「狩猟」朗読会ー第34回森林レクリエーション全国研修会を迎えるに当たってー (No.419)
 - 山菜料理コンクールから初めての商品化 パスタソース「“ウド” ベージェ〜春山の香り〜」の発売について (No.421)
 - 新緑の南足柄の森林と夕日の滝を訪ねるモニターツアー ヘルスケアのための癒しの滝鑑賞×森林浴の開催 (No.421)
 - 令和3年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」のご案内 (No.407, 410)
 - 第34回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の発表・プロフィール (No.420, 422)
 - 支部運営会議の開催 (No.425, 427)
 - 令和4年度「山の日」記念行事 都市と山村の交流の村 川場を訪ねるー21世紀の森と川場田園プラザ×講演ー (No.426)
 - 第35回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」

推薦募集 (No.426, 427, 428)

- 令和4年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」の日程等のお知らせ (No.420, 422)
- 令和4年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 428)

⑥ その他の情報

- 森林景観整備でより良い眺めを提供する(1), (2), (3)
(No.423, 424, 426)

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報(関連情報)の収集を行うとともに、会員のメーリングリストにより会員への情報提供を適宜行った。

また、協会関連ホームページ(URL: <http://www.shinrinreku.jp>)の適時の更新・充実に努めた。

(3) 森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」の実施
(旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール)

第34回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」の審査を実施し、審査の結果、農林水産大臣賞1団体、林野庁長官賞2団体、当協会会長賞5団体及び奨励賞6団体を決定した。また、第38回通常総会において表彰式を実施した。

第35回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」として、都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション活動が行われている地域において、景観の保全・向上のための森林整備、利用者の利便性、安全性の向上のための施設整備、森林の有効活用によるレクリエーション活動、美化のための清掃・ゴミ拾い及び動植物の保護のための活動等を積極的に行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等の推薦公募(締め切りは令和5年2月15日)を実施した。

なお、審査委員会は令和5年4月に実施した。審査の結果、次の受賞団体が決定した。

- 農林水産大臣賞(1点)
金立水曜登山会(佐賀県佐賀市)
- 林野庁長官賞(2点)
特定非営利活動法人あきた白神の森倶楽部(秋田県藤里町)
磯山とゆかいな仲間達(栃木県真岡市)
- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞(4点)
特定非営利活動法人ひがし大雪自然ガイドセンター(北海道上士幌町)
水の森公園に親しむ会(宮城県仙台市)

浅井湯田地域づくり協議会（滋賀県長浜市）

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会（鹿児島県屋久島町）

○奨励賞（7点）

特別奨励賞～さらなる飛躍を期待して～

特定非営利活動法人子どもと文化のひろばふれいおん・とから
（北海道帯広市）

特別奨励賞～永年の活動を讃えて～ 愛媛大学山岳会（愛媛県松山市）

奨励賞

宮城蔵王ガイド協会（宮城県蔵王町）

特定非営利活動法人伊豆こどもミュージアム（静岡県伊豆市）

特定非営利活動法人名古屋シティフォレスト倶楽部（愛知県名古屋市）

南つるぎ地域活性化協議会（徳島県那賀町）

船戸活性化委員会「四万十川源流点」（高知県津野町）

(4) 第35回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 自然豊かな北海道十勝の森林レクリエーションエリアを巡る

開催時期 令和4年10月17日（月）～18日（火）

開催場所 北海道十勝地方

参加人員 47人

研修内容 大樹町の宇宙交流センターSORAを視察、開会式の後、令和4年5月から供用された、地中熱利用により消費エネルギーを削減する大樹町役場庁舎を視察。その後、上土幌町のナイタイ高原牧場、ナイタイテラスを視察し、宿泊地のぬかびら温泉郷に到着し、1日目の行程を終了。2日目は、ぬかびら温泉郷スキー場、然別自然休養林を視察した後、サホロリゾートスキー場、ベアマウンテンなど佐幌岳野外スポーツ地域を視察。

(5) 「山の日」記念行事の実施

令和4年10月7日（金）に「山の日」記念行事として、（一財）日本森林林業振興会及び（一社）日本森林インストラクター協会との共催により、「都市と山村の交流の村 川場を訪ねるー21世紀の森と川場田園プラザ×講演ー」を群馬県川場村において実施した。外山川場村長の案内により群馬県立森林公園21世紀の森の散策、川場田園プラザの見学、川場産コシヒカリ「雪ほたか」の直火炊きご飯の昼食後、川場村文化会館ホールにおいて、「農業プラス観光そして林業を柱にしたむらづくり」と題した外山川場村長による講演が行われた。公募による一般参加者、スタッフ等約40名が参加した。

(6) 森林環境教育ネットワーク事業

森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信。

- ① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営
URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
- ② メールマガジンの配信 (会員登録数 : 約 800)

(7) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

- ① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年4回、各回850～900部)
- ② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供
- ③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ
- ④ 資料の配布やインストラクターの紹介
- ⑤ 木場公園において開催された「みどりとふれあうフェスティバル」への出展「および」子ども樹木博士認定活動の実施 (令和4年5月15日)等の活動を実施。

(8) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム

令和4年度(令和4年1月～令和4年12月)の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第1回研究会 (3月23日)	これからのウッド・チェンジ ～建築物における木材利用促進の取組～ 講師 林野庁林政部木材利用課 建築物木材利用促進官 小木曾 純子 氏 ※当研究会は、会場への出席のほか、会員及び当協会会員へ ZOOM ウェビナーで配信した。
第2回研究会 (6月30日)	① 森林の力 森林の恵み ～木材生産と森林総合利用サービスを統合した森林経営～ 講師 (株)ふもとつばら 事業部長 松崎 誠司 氏 ② 令和3年度森林・林業白書について 講師 林野庁林政部企画課年次報告班 担当課長補佐 加藤 靖之 氏

研究会等の開催	テーマ・講師等
第3回研究会 (10月28日)	① J-クレジット制度に基づく森林クレジットの創出拡大及び活用促進に向けた今後の取組 講師 林野庁森林整備部森林利用課 森林保全促進官 増山 寿政 氏 ② 森林景観整備について ～景観整備とは何をする事なのか～ 講師 技術士(森林部門) 由田 幸雄 氏
現地研修会 (10月17日～18日)	開催場所 北海道十勝地方 「自然豊かな北海道十勝の森林レクリエーションエリアを巡る」 (第35回森林レクリエーション全国研修会に合わせて開催)
第4回研究会 (12月21日)	① 山野を駆けた森林鉄道とその遺産の現在の活用 講師 全国森林鉄道保存活用団体連絡協議会 事務局長 矢部 三雄 氏 ② 小さくて強い林業を目指して 講師 (株)東京チェンソーズ 代表取締役 青木 亮輔 氏

(10) 他団体主催行事への後援等

- ① 第31回森と花の祭典・みどりの感謝祭(協賛)
令和4年5月7日(イイノホール)
- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」(協力)
令和5年1月10日～1月13日(農林水産省)
- ③ 令和4年度国有林野事業業務研究発表会(協会会長賞の授与)
令和4年11月24日(林野庁)
○ 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
(森林ふれあい部門)
課題名 「愛媛県固有種トキワバイカツツジの里帰り」への取組報告
受賞者 四国森林管理局愛媛森林管理署 谷本 明夫 氏
林野庁林政部木材利用課(元愛媛森林管理署) 木村 拓真 氏
- ④ シンポジウム「地域が育てるー地方留学と農山漁村の未来ー」(後援)
令和4年10月1日(一般財団法人林業経済研究所)
- ⑤ IZU TRAIL Journey2022(後援)
令和4年12月10日～11日(松崎町松崎～伊豆市修善寺温泉)

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水
準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及
び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林
活動ガイド」として登録。

令和4年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（令和4年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（令和4年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日数	場 所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森 林	5.14~5.16	3	東京都文京区 林野会館	41人
	野外活動等	5.28~5.30	3		36人
	林 業	6.11~6.12	2		42人
講習Ⅱ (全科目講習)	4 科 目	8.13~8.20 (※9.3)	8	東京都文京区 林野会館 (※オンライン研修併 用現地研修は除く)	61人 (18人)

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指
導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクター
の養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内
容を盛り込んで実施。

- ① 令和4年5月14日～6月12日（うち8日間） 受講者数 28人
- ② 令和4年8月13日～20日 受講者数 59人

4 森林インストラクター資格認定事業

令和4年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は283人（前年
度284人）、合格者数は109人（同100人）で、平成4年度からの合格者数の
累計は4,763人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を
付与。

令和4年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（令和4年2月1日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（令和4年6月1日）

③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9月25日	札幌市	北海道経済センター	7人
	仙台市	ショーケー本館ビル	15人
	東京都	JA 共済ビルビジネスカンファレンスセンター	141人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	33人
	大阪市	ツイン2 1 MID タワー	50人
	高知市	高知城ホール	16人
	福岡市	電気ビル本館	17人

④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11月19～20日	東京都	林野会館	110人

- ⑤ 合格者の審査・決定（令和4年12月6日）
 ⑥ 合格者の公表・登録開始（令和4年12月15日）
 ⑦ 令和4年度の登録更新の開始（令和4年11月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日等	開催地等	本部出席者
道 央	4年7月7日	北海道札幌市	沼田理事長
旭 川	4年8月4日	北海道旭川市	沼田理事長
帯 広	4年8月1日	北海道大樹町	木下専務理事
北 見	4年7月12日	北海道北見市	木下専務理事
函 館	4年7月28日	北海道函館市	沼田理事長
青 森 (研修会)	4年10月11日～12日	岩手県花巻市	木下専務理事
秋 田 (研修会)	4年10月11日～12日	岩手県花巻市	木下専務理事
前 橋 (研修会)	4年8月24日	群馬県前橋市	木下専務理事
	5年3月2～3日	福島県猪苗代町	木下専務理事
東 京	4年9月28日	書面決議	
長 野	4年6月7日	書面決議	
名古屋	4年7月22日	書面決議	
四 国 (研修会)	4年11月1日	高知県梶原町	木下専務理事
九 州	4年9月20日	書面決議	

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

令和4年度末における会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	9	1	10
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	17	8	25
	青 森 支 部	19	9	28
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	12	23	35
	東 京 支 部	8	8	16
	長 野 支 部	4	5	9
	名 古 屋 支 部	4	1	5
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	9	2	11
	本 部	1	3	4
	小 計	127	91	218
賛 助 会 員		-	17	17
合 計		127	108	235